

# 「人づくり」を学ぶ

あすなるクラブ

さわらび学園施設長 坂見氏が例会で講演

異業種交流・経済研修団体の釧路あすなるクラブ(齊藤政行会長)は18日、釧路キャッスルホテルで8月例会を開いた。第2部会(中村博部会長)が担当し、さわらび学園施設運営における姿勢について学んだ。



「経営ではなく利用者の幸せを一番に考えている」と述べる坂見施設長

同クラブの年間テーマ「創る・つなぐ・釧路の未来」の中から、同部会が担当したテーマは「人づくり」。以前から中村部会長が知っていたという同学園の活動について学び、地域を支える人材育成のためのヒントを得ようと企画した。

この日は会員約40人が出席。坂見施設長はインターネットの通信販売「るんちゃんSHOP」や、釧路フィッシャーマンズフーフMOO内の売店「ピュアメイドマーケット」について説明しながら、「以前は施設ごとに努力をしてきたが、今は施設が協力して取り組む時代。施設や関係者だけではなく、地域全体で障害者たちをどう支援していくかが重要になってくる」と指摘。「地域の魅力を我々自身ももっと知り、それを生かしていく施設づくりも必要」と訴えた。中村部会長は「就労の場や販売の受け皿がもっと増えていくよう、さらに支援を続けていく必要があると思います」と話した。(高田薫)